

2015.3.1 第1158号  
ISSN 0913-0217

発行人/長 瀬 清  
発行所/北海道医師会  
〒060-8627

札幌市中央区大通西6丁目  
TEL(011)231-1432  
FAX(011)221-5070

# 北海道医報

2015

3  
月号



北海道 美の遺産

本間 莞彩

夕日の北海

北海道立近代美術館 所蔵

# CONTENTS

北海道医報  
平成27年3月1日 第1158号

指標／女性医師の増加と今後について	深澤 雅則	3
医の倫理綱領		7
北海道医師会公示・告示		8
生涯教育シリーズXXI／B型肝炎治療の現況と再活性化対策	髭 修平	10
報告／国民医療を守るための国民運動	三戸 和昭、笹本 洋一	14
報告／平成26年度病院管理研修会	伊藤 利道	18
報告／平成26年度北海道病院団体懇談会	伊藤 利道	22
最新・医事紛争Q & A／癌の過剰診断	黒木 俊郎、武市 尚子	24
税務相談室／旅費交通費	中村 孝一	26
北海道医歌人会詠草		27
会員のひろば	富田 雅枝、和田佳緒利、川崎 浩之、本間 敏美 東 信良、山口由美子、曾根崎 聡、大平 整爾、平田健一郎	28
ポラリスを仰ぐ北の大地から	佐藤 貢、島田 道朗	36
大通公園を望む窓辺から	生駒 一憲、古屋 聖兒	37
医学会・医学講演会等 開催情報		38
中央38 道南43 後志44 日胆44 空知45 道北45 北見47 道東48		
その他開催情報		49
日医認定健康スポーツ医制度再研修会開催一覧		49
日医認定産業医制度研修会開催一覧		50
会議室／第21・22回常任理事会		52
訃報		56
道医の動き		57
売貸医院・医師招聘情報		58
道医師国保の頁		66
季節風／救急車は有料にすべきか？	藤井 美穂	78

## お知らせ

市民のためのがん特別セミナー 2015<sup>13</sup>／北海道医師会 育児サポート事業のご案内<sup>20</sup>  
平成26年度 札幌市医師会医政講演会<sup>21</sup>／会員優待ONLINE予約サービス開始について<sup>35</sup>  
平成26年度生涯教育申告書提出期限の変更について<sup>49</sup>  
中小企業再生支援協議会事業が対象とする「中小企業者」への「医療法人」の追加について<sup>51</sup>  
厚生労働省「女性医師のさらなる活躍を応援する懇談会」報告書の公表について<sup>56</sup>  
ホームページリニューアルのお知らせ<sup>57</sup>／日本医師会作成『心肺蘇生法CAB+Dカード』<sup>65</sup>  
女性医師等支援事業を推進しています。<sup>75</sup>／一生命保険「団体扱い」のお奨め<sup>76</sup>  
「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼<sup>76</sup>／グループ保険のご案内<sup>77</sup>

北海道医師会会員数	8,242名 (-14)	うち日本医師会会員数	5,845名 (-6)		
A	2,497名 (-6)	B2	4,516名 (-8)	C2	158名 (±0)
B1	596名 (-1)	C1	112名 (±0)	C3	363名 (+1)

平成27年1月31日現在 ( ) 内前月比

## 作品紹介

### 本間 莞彩 夕日の北海

1894(明治27)年～1959(昭和34)年  
新潟生まれ。

1957(昭和32)年の作品。紙本彩色・額(182.5×156.4cm)。

1908年、余市町の本間海産物問屋に引き取られるが、1914年に画家を志して上京。太平洋画会研究所で学ぶ。帰札幌後、肖像画で生計を立てながら第1回道展に出品。1927年の第3回道展で、洋画から日本画へ転向した。1920年代頃から、北海道生まれの洋画家たちが道内外で活

## 北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立近代美術館  
(札幌市中央区北1条西17丁目 011-644-6881)

躍する一方、本道では日本画の本格的な学習や作品鑑賞の場が得られず、優れた画家が輩出されなかった。

「北海道で日本画は育たない」といわれる中、本間莞彩は1946年、道展日本画部会員を中心に北海道日本画協会を創立。さらに、公募展開催や研究所の開設など、日本画主体の活動を広げ、道内日本画壇の牽引者として活躍した。

北海道の景色を一目見ようと、観光客が足を運ぶ。夕日の向こうから押し寄せる流水を背景に、子どもたちはシャッターを待つ。北の風土を描きながらも、日常的な視点が際立つ、作者ならではの風景がある。